

THIS

総合健康情報システム
Total Health Information System



株式会社 アルファインターナショナル

ALPHAの強み

総合健康情報システム「THIS」は、健診システムに特化した「シンプル」で「ムダのない」独自の開発ツール「Instead（インストールド）」で構築しています。

なぜシステムの更新が発生するのか？

一般的な健診システムは、システムとOSが一体化!!

システム + OS

- OSのサポート切れに伴いシステム更新のタイミングが発生する!
- システムの寿命がOSのバージョンに依存している!
- ハードウェアをユーザーの都合で更新や買い替えできない!

OSのバージョンに依存しない ALPHAの健診システム



- システム寿命がOSのバージョンに依存しない!
- ハードウェアをユーザーの都合で買い替えることができる!
- 新たなOSのバージョンを利用できる!



当社独自の非依存型 ユーザーアプリケーション開発ツール「Instead」

「Instead」を採用するメリット

従来のプログラム開発で不可避だった、他社のデータベースやOS等のバージョンアップに伴って発生する各種制限から解放され、自己管理可能な開発環境を構築することができます。そのため、一度開発した業務プログラムを継続して利用することができるので、費用の削減、サービスの向上へつながります。



THIS

総合健康情報システム
Total Health Information System

高齢化や生活習慣の変化により、健康管理に対する意識が深まる中、健康診断は今まで以上にその重要性が増しています。医療の質の向上や効率化を目指す医療機関様にとっても、医療のIT化に寄せる期待は大きく増えてきています。弊社のシステムは20年以上の開発実績と信頼を基に、お客様のニーズや業務形態に合った、常にご満足いただけるシステムの構築を実現いたします。



THISとは

「THIS」は、健康づくりの総合的なデータ管理を行うために開発された医療機関・健診機関向け総合健康情報システムです。新規に導入される施設様、また既に健診システムを導入されている施設様の入れ替えとして、スタンドアロン版からネットワーク版まで様々な運用形態に対応しています。本システムを導入することにより、人的ミスの軽減、精度管理の向上、多角的な情報把握等を実現することができ、最終的には、受診者へより迅速かつ的確な情報を提供することができます。

長期利用可 システムの拡張性と柔軟性

- ◆パソコン1台から数十台の中・大規模ネットワークシステムまで、利用施設の規模や運用に応じて最適なシステムを迅速かつ安価に構築できます。
- ◆業務量の増大や運用形態の変動等に伴うマスタ情報の変更や、入出力業務の変更に柔軟に対応できるデータベース構造になっています。
- ◆ME機器とも、RS232C、USB、Bluetooth等の外部出力端子及び出力機能があるものであれば、基本的にはどのメーカーのものでもPC又は専用のインターフェイスを介して接続できます。
- ◆Windows® OSのバージョンに影響されないので未永くご利用いただけます。

効率的 効率化・省力化を追求した業務処理

- ◆契約情報の管理や見積情報の登録から始まり、予約・準備・受付・データ収集・結果報告・請求業務までの各業務の情報連携と業務連携を有機的に管理し、業務処理の効率化と省力化を追求しています。

契約情報登録画面例

個人データ統合画面例

二重に登録してしまった同一人物に関するデータを統合できます。

スケジュール画面例

コース・部門毎の予約人数の管理や、個人・団体毎の予約登録が行えます。

結果登録画面例

個別表示 グループ別表示

正常値より低い値は青色、高い値は赤色で表示されるので、異常値が一目でわかります。

ドクター判定入力画面例

全ての結果情報を参照しながら、最終判定やコメントの入力ができます。また、画像システムとの連携によって画像データを参照することもできます。

時系列照画面例

個人の健診結果を時系列で参照できます。

安心 セキュリティ対策

- ◆システム起動時に「ユーザーID」と「パスワード」を入力することで、使用者の資格に合ったメニュー画面を表示させることができます。

操作が簡単 使い易さを追求した業務画面

- ◆メニュー画面、業務処理画面、検索画面、帳票出力画面等、全ての画面について、お客様の使い易さ・見易さを追求して設計されているため、どんなでも容易にかつ正確に使いこなすことができます。

分析機能 充実したフォローアップ

- ◆受診者データの包括的な自動判定や経年的変化管理等、蓄積されたデータを多角的に分析し、事後指導、各種健康相談、営業等に活用することができます。
- ◆指定された判定ランクに該当する受診者の機能別判定一覧表を作成したり、前回の受診状況や年齢を基準に健診対象者の一覧表を作成することができます。

機能別判定一覧出力例

自動判定 ロジックの「見える化」

- ◆自動判定ロジックの規定条件は画面からのパラメータで自由に設定できます。
- ◆ユーザー毎や医師毎で微妙に異なる判定ロジックでも簡単に設定できます。また、設定後の条件変更・追加等にも柔軟に対応できます。
- ◆変更履歴を残せるので安心して操作することができます。

自動判定ロジック画面例

視覚的に分かりやすい表示なので、簡単に判定ロジックの変更や追加が行えます。

自由自在 エンドユーザーコンピューティング機能

- ◆システム稼働後に出力帳票の形式や項目の変更・追加等が発生した場合、プログラムの変更なしにパラメータの設定のみで対応することができます。
- ◆基幹DBから必要なデータをCSVファイルに抽出できるので、市販ソフトを利用することができ、容易に集計・統計処理等を実現できます。

マスタメンテナンス画面例

帳票サンプル

健康診断結果報告書(個人向け)、健康診断結果連名簿(団体向け)等をご希望のフォーマットで作成できます。

健康診断結果報告書出力例① 健康診断結果報告書出力例② 健康診断結果連名簿出力例

